

今週（2月13日から2月17日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、1月の積み期間に当たる週前半と2月の積み期間に当たる週後半で、地合いが大きく様変わりする展開となった。当座預金残高は週初こそ320兆円台半ばであったものの、15日の年金定時払いを受け、週末には330兆円程度まで増加した。

13日、14日は積み最終日を控えて調達希望が強く、大手行、地銀共に▲0.03～▲0.02%が出合いの中心となった。積み最終日となる15日は、年金定時払い日に当たり、調達に目途をつけた銀行勢も散見されたものの、証券業態中心に資金調達需要が底堅く、▲0.03～▲0.015%の出合いが中心となった。新しい積み期間に入ると、大手行▲0.07～▲0.06%、地銀業態▲0.04～▲0.03%が出合いの中心となる等、調達姿勢に落ち着きが見られるようになった。週間の加重平均レートは13～15日が▲0.02%台、16日が▲0.04%台となった。ターム物に関しては、週前半は足元金利の高止まりから、ショートタームで▲0.015%中心の出合いとなっていた。週半ば以降は地銀業態を中心に資金放出ニーズが見られ、▲0.025～▲0.02%へ低下した。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは16日に2W・8,000億円でオファーされ、落札額1,516億円（期落ち額1,590億円）となった。

●レポ市場

今週のO/N GCは週内に積み期間の最終日を迎えることで、投資家の資金調達ニーズが強まる場面が見られ、レートが上昇する場面も見られた。

週初13日のT/Nは積み最終日が近いと、オファーサイドの資金調達ニーズも厚く、▲0.08～▲0.065%と高めの水準での出合いとなった。S/Nもレート水準は然程変化が無く、▲0.075～▲0.07%での出合いとなった。14日のS/Nは新しい積み期間に係るようになったことで、投資家のオファーニーズが減退し、レートは低下し、▲0.085～▲0.08%の出合いとなった。その後は主に業者のオファーが中心となり、短国の入札・発行や日銀のオペなどがあつたものの、レート水準に変化は無く、▲0.09～▲0.08%程度の出合いとなった。

SCIについては2年・5年・10年・20年・30年のカレント周りの銘柄でタイトなレートで取引される銘柄が複数見られている。個別銘柄では2y 372、5y 128～5y 130、10y 333～335、10y 340～345、20y 159、30y 50～52にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、短国買入オペの動向が不透明な中、やや軟調な地合いの中で実施されたTB3Mと1Yの2本の入札が目注されたが、概ね順調な結果となった。

15日には1Y物、16日には3M物の入札が実施された。1Y物の入札は、WI取引で▲0.255～▲0.235%の出合いが見られ、入札結果は平均落札利回り▲0.2613%、按分落札利回り▲0.2513%と、前回の1Y物の入札結果（平均▲0.335%、按分▲0.3261%）から大きく上昇したものの、事前の予想よりも堅調な結果となった。セカンダリー市場では、▲0.34～▲0.32%と強めの出合いが見られた。3M物の入札は、WI取引で▲0.215～▲0.21%の出合いが見られる中、入札結果は平均落札利回り▲0.2156%、按分落札利回り▲0.2024%と、一定のロールニーズもあつてか堅調な結果となった。セカンダリー市場では、▲0.23%から▲0.247%まで買い進まれた。

短国買入オペは17日に事前の予想よりも少ない1兆円で実施された。結果は平均利回り較差こそ+0.024%であったが、按分落札利回り較差は▲0.001%と堅調な結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、週間償還総額5,800億円程度に対し、週間発行総額は7,500億円程度となった。五・十日に該当する13日、16日の発行を中心に、一部の商社、不動産、鉄鋼業態において大型発行が見られた。発行レートは、投資家の強い資金運用需要を反映し、期内物はほぼ0%近辺、レア銘柄や発行の少ない期越え物は僅かなマイナスレートでの決着となった。

14日には、CP等買入オペが前回と同額の3,000億円で実施された。結果は、応札が5,375億円と少なかつたにも関わらず、売却意欲が強かつたことから、按分落札レート・平均落札レートともに前回と同様の▲0.001%となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
2/13（月）	19,459.15	0.085	113.90	△ 0.027	△ 0.076	3,233,800
2/14（火）	19,238.98	0.090	113.67	△ 0.026	△ 0.072	3,256,700
2/15（水）	19,437.98	0.085	114.33	△ 0.026	△ 0.085	3,315,100
2/16（木）	19,347.53	0.090	113.85	△ 0.045	△ 0.088	3,291,500
2/17（金）	19,234.62	0.085	113.44	△ 0.047	△ 0.082	3,306,900

来週（2月20日から2月24日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/20 (月)	1月の貿易統計(財務省 8:50)				New York祝日 (Presidents' Day)
2/21 (火)		流動性供給 5,000億円 2/23発行			
2/22 (水)		交付税借入 10,500億円 3/2借入			1月の米中古住宅販売 1月のユーロ圏消費者物価指数改定値
2/23 (木)	山梨県金融経済懇談会にて木内審議委員講演 月例経済報告 (内閣府) 1月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 12月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	TB3M 44,000億円 2/27発行	20Y 11,000億円 2/27発行		10-12月期の英GDP改定値
2/24 (金)		交付税借入 10,500億円 3/7借入			1月の米新築一戸建て販売件数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給予因
2/20 (月)	▲ 400	▲ 30,600	▲ 31,000	全店共通 CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 1,600 ▲ 300 200	1,500 200	0	▲ 31,000	TB3M発行▲44000償還43700 TB1Y発行▲25000償還2600 流動性供給▲4000 エネルギー対策借▲4500期日4000
2/21 (火)	▲ 1,000	3,000	2,000	国債買入 短国買入		4,200 10,000	14,200	16,200	
2/22 (水)	▲ 2,000	▲ 1,000	▲ 3,000				0	▲ 3,000	
2/23 (木)	▲ 2,000	▲ 3,000	▲ 5,000	社債買入		800	800	▲ 4,200	流動性供給▲5000 交付税借入▲10500期日10500
2/24 (金)	▲ 2,000	▲ 1,000	▲ 3,000				0	▲ 3,000	
週間合計	▲ 7,400	▲ 32,600	▲ 40,000	—	▲ 1,700	16,700	15,000	▲ 25,000	

2/20は日銀予想、2/21以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新しい積み期間に入ったことで無担保コールO/N加重平均レートが若干低下しているものの、試し取りなどにより、低下幅は限定的なものにとどまると考えられる。

短国市場は、23日に3M物の入札が予定されている。償還日の5月29日が米国・英国の祝日に当たるため、按分利回が若干上昇すると見込まれる。

CP市場は月末発行にかかる週となり、発行案件の増加が見込まれる。23日にはCP等買入オペが3,000億円オファーされる予定となっている。

主要なイベントは特段予定されていない。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入